

4 令和7年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>①生徒の「主体的に学習に取り組む態度」を養うため、授業計画、日課時程の再検討に取り組む。</p> <p>②課題研究の進め方やシチズンシップの視点を取り入れた取組について、研究を進める。</p>	<p>①弾力的な Semester 一制の運用のより柔軟な運用を検討する。 50分授業の運用を円滑に行い、定期試験時程の見直しを行う。</p> <p>②教職員に本校のシチズンシップ教育の理念の浸透をはかる。 課題研究の授業プログラムを刷新する。</p>	<p>①必修修科目の増単科目も通年科目として扱い、同じ科目間での通年半期の扱いの違いをなくす。 試験日程、時程を教員の業務に無理なく運用できるように見直す。</p> <p>②社会に積極的に関与する力を身に付けることに加え、関わり方に関する教育も含まれることを周知し、授業で実践する。 課題研究の授業プログラムを関西地方の研修旅行と関連させた内容に変更する。</p>	<p>①半期と通年の扱いが同じ科目間で矛盾しないように整理できたか。 試験日程、時程が整理できたか。</p> <p>②多くの教員が、授業実践をすることができたか。新たな課題研究の授業プログラムを策定できたか。</p>
2	生徒指導・ 支援	<p>①学校行事や部活動を生徒の視線から見直して充実させ、自己有用感の醸成に結び付ける。</p> <p>②外国につながるのある生徒への学習支援を含め、SC、SSWや外部機関とも連携した支援を進める。</p>	<p>①これまでのルールを整理し、生徒の意見を取り入れた学校行事や部活動を運営する。 学校行事や部活動において地域と連携した取り組みを検討する。</p> <p>②生徒の見守りを日常的に学校全体で行う意識を持ち、生徒支援体制を構築していく。</p>	<p>①実行委員を始めとした生徒の意見を取り入れ、より整理された学校行事や部活動を運営する。 部活動の校外での活動や地域に開かれた学校行事を検討する。</p> <p>②生徒が安心・安全に学校生活を送れるように、基本的な生活習慣を身に付け、必要な時に相談できやすい支援を組織的に行っていく。</p>	<p>①生徒の考えを活かした学校行事や部活動の運営ができたか。 校外での部活動実績をあげられたか。地域に開かれた学校行事を運営できたか。</p> <p>②支援体制の整備、職員全体への意識付けができたか。また、学校全体での組織的で効果的な支援を行えたか。</p>

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
3	進路指導・支援	<p>①卒業後を見据えて、外国につながる生徒の学習や生活指導体制を整える。</p> <p>②生徒が自身や社会の課題に向き合い、解決に向けて学び続ける姿勢の涵養を図る。</p>	<p>①ひとり一人の実情に即した進路決定をはかる。</p> <p>②キャリア教育プログラムの基幹プログラムの充実を図る。また外部テストを通じて生徒が自分の学力の客観評価を行う。</p>	<p>①個別の面談を通じて、自身の学力の客観的把握をさせ、受験先や受験方法決定について支援する。</p> <p>②「進路ガイダンス」「産業社会と人間」での外部の教育力を活用したプログラムの充実を図る。また外部テストの振り返りをはかる。</p>	<p>①卒業年次生個々の希望に即した進路実現ができたか。</p> <p>②インタビュー実習や進路講演会の改善ができたか。また生徒が自身の客観的学力をつかみ、モチベーション向上につなげることができたか。</p>
4	地域等との協働	<p>①生徒一人ひとりが学校から地域等へ向ける視線を育み、ボランティアや地域等との協働に取り組む姿勢の涵養に取り組む。</p>	<p>①他者を理解し、社会に貢献する意欲を育み、生涯にわたって行動できる資質を養う。</p>	<p>①既存のボランティア活動のみならず、生徒が積極的に地域に目を向けるための情報提供の機会を増やす。また、時事問題などへの関心を持たせるために地域交流などの機会を有効に活用する。</p>	<p>①生徒が参加可能な地域交流の場の提供を増やすことができたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①総合学科としての多彩な事業に取り組むことを通じて、教員の協働性や組織力及び教育力を伸ばす。</p> <p>②職場の協働性を育むことを通じて、労働時間の短縮に取り組むとともに、不祥事を未然に防止する。</p>	<p>①総合学科教育研究会の各種事業をとおして、教員の協働性や組織力及び教育力を伸ばす。</p> <p>②定期試験の全体運営、各科目の試験運営の負担軽減に努める。</p>	<p>①夏季研修会、専門学校見学会、専門学校教職員との研究会、総合学科フェスタ、関東大会への積極的な参加を促す。</p> <p>②県下に導入される採点システムを円滑に運用し、採点の負担を軽減する。成績処理を統一して行うエクセルシートのブラッシュアップを行う。</p>	<p>①夏季研修会、専門学校見学会、専門学校教職員との研究会、総合学科フェスタ、関東大会への積極的な参加者が増えたか。</p> <p>②採点システムの運用実績、成績処理用のエクセルシート利用状況が向上したか。</p>